

PRESS RELEASE

報道関係者各位



2012年12月5日

株式会社セゾン情報システムズ

ICTの「すべて」をつなぐデータ連携ミドルウェア (アイディーボ)に 新接続アダプタ、「ビッグデータ連携 for Hadoop」を追加

株式会社セゾン情報システムズ(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:宮野隆、以下「セゾン情報システムズ」)は、データ転送、データ蓄積、データ加工、クラウド接続、アプリケーション連携、DB連携を必要なカートリッジで機能を配し、自由自在にデータ連携を実現することのできる「iDIVO」のオプション機能として、「^{アイディーボ}iDIVOビッグデータ連携 for Hadoop」を2012年12月より提供開始することを発表いたします。

ビッグデータ活用における課題

昨今、ビジネスを創出するため蓄積されたデータを有効活用したいという企業の要望が増大しております。しかし、実際には以下に掲げるような課題を克服する必要があり、ビッグデータ活用に取り組めないケースも少なくありません。

- ✓ 企業が所有するデータは多様化が進み、活用したいデータには、従来型のデータベースに格納できるように構造化されたデータ以外に、文書、画像、音声、動画など、非構造化データと呼ばれるデータも含まれている。
- ✓ 各種業務アプリケーションから発生するデータ量は日々爆発的に増大し、通常のデータベース等では格納や分析が非常に困難になってきている。
- ✓ クラウドコンピューティングの躍進により、オンプレミスとクラウドが混在した、いわゆるハイブリッド環境で稼動するシステムが求められている。

非構造化データやソーシャルデータを活用し、膨大なデータから従来よりもインテリジェントな結果を導き出すため、超並列データベース、クラウドコンピューティング、分散ファイルシステム、大規模記憶装置などの技術を活用する必要があり、それら分散された環境にあるデータを連携するためのICT基盤が求められております。

ハイブリッド・データ・コミュニケーター「^{アイディーボ}iDIVO」の新機能とは

セゾン情報システムズのハイブリッド・データ・コミュニケーター「^{アイディーボ}iDIVO」は、ビッグデータ活用に求められるICT基盤のデータ連携に必要な機能をカートリッジ形式で提供するデータ連携ミドルウェアです。お客様は、必要なシーンに必要な機能だけを最適なコストで導入することが可能です。

「^{アイディーボ}iDIVO」は、データ転送機能にとどまらず、データ蓄積、DBアクセス、データ加工、管理機

能、アプリケーション（SAP）連携、クラウド（Salesforce、Amazon Web Services、Nifty クラウド）接続といった優れた機能を組み合わせ、データを【つなぐ・適合・処理の分散・管理の統合】といったハイブリッド時代のデータ連携シーンに必要な、様々なソリューションを提供しております。

当然、国内 7,400 社（2012 年 9 月末現在）に導入されている当社製品「HULFT」^{ハルフト}との連携も可能なため、既存システムとの連携も容易に実現できます。

今回セゾン情報システムズでは、この「iDIVO」^{アイディーボ}のコンセプトである、ICT の「すべて」をつなぐデータ連携ミドルウェアの新機能として、Apache Software Foundation が開発、公開しているオープンソースソフトウェア「Hadoop」とオンプレミス、クラウドをデータ連携によりシームレスにつなぎ、ビッグデータ活用に有効な ICT 基盤に最適化するための新機能として、【ビッグデータ連携 for Hadoop】をオプションとしてリリースいたします。

「iDIVO」^{アイディーボ}は、本体となる「iDIVO Base」^{アイディーボ ベース}と各種設定、運用管理画面を提供する「iDIVO Manager」^{アイディーボ マネージャー}、および各種機能を提供する様々な専用カートリッジから構成されています。セゾン情報システムズおよびセゾン情報システムズの販売代理店経由で 1 ライセンス 10 万円から販売しております。

セゾン情報システムズは、企業内外のあらゆるシステムを効率よく連携させ、複雑化したデータ連携のシンプルな運用を実現することを本事業のビジョンとし、2013 年度単年で本製品および関連サービスで 10 億円の売上を目指しております。

「iDIVO」^{アイディーボ}の主要機能

- | | |
|---|--|
| (1) ^{ハルフト} HULFT プロトコル転送・暗号化 | ^{アイディーボ} iDIVO 間の ^{ハルフト} HULFT プロトコル転送を実現、 ^{ハルフト} HULFT7/ ^{ハルフト} HULFT6 との集配信も可能 |
| (2) ジョブフロー・ユーティリティ管理・スケジューラ | データ連携の処理をフローで定義し、プロセスの可視化を実現。別ノードのジョブフローの実行、各機能のスケジューリング登録実行が可能となっており、運用実行の自動化を実現 |
| (3) ファイルボックス・DB アクセス | ファイルボックスによる蓄積機能を提供。Oracle、SQL Server 等、各種 DB への接続が可能です。 |
| (4) コード変換・データ加工 | コード変換、レイアウト変換、ソート処理、マージ処理、ファイルの分割・結合、抽出処理の実行 |
| (5) ^{ハルフト} HULFT 管理・ファイル監視トリガ・統合管理 | 複数の ^{ハルフト} HULFT 管理機能、ファイル監視によりイベントトリガの機能を提供し、管理画面により各種機能の統合管理が可能です。 |
| (6) アプリケーション連携(機能追加)* | Hadoop 連携(HDFS API)、SAP 連携(RFX/BAPI 機能、IDoc 連携、SAP テーブル連携機能)を提供 |
| (7) クラウド接続 | 各種クラウドサービスとの接続 (Salesforce、Amazon Web Services、ニフティクラウド) |

「iDIVO」の構成

(1) iDIVO Base

各種機能を搭載する本体。ジョブを管理します。UNIX 版、Linux 版、Windows 版があり、いずれも 1 ライセンス 10 万円から提供します。

(2) iDIVO Manager

「iDIVO」のデータ連携関連機能を管理・操作するためのインターフェース。Windows 版と WEB 版のアプリケーションがあり、複数の「iDIVO」を一元管理することができます。「iDIVO Manager」は、「iDIVO Base」に同梱されます。

(3) 各種カートリッジ機能

上述「iDIVO」の主要機能のうち、*については必要な機能のみをカートリッジ機能として選択導入できます。

※「iDIVO」および「HULFT」は、セゾン情報システムズの登録商標です。

※本文中に掲載された製品名は、各社の登録商標または商標です。

■ (株)セゾン情報システムズ について

本社：〒170-6021 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 21F

設立：1970 年 9 月 1 日

代表者：宮野 隆（代表取締役社長）

資本金：1,367,687,500 円

事業内容：金融システム事業、流通サービスシステム事業、BPO 事業、HULFT 事業

証券コード：9640 (JASDAQ)

URL：<http://home.saison.co.jp/>

<報道関係者お問合せ先>

(株)セゾン情報システムズ

広報担当：豊田

TEL：03-3988-3477

<製品に関するお問合せ先>

(株)セゾン情報システムズ：HULFT 営業部

TEL：03-3988-5301

E-mail：hulft@saison.co.jp